

『北日本漁業』執筆要領

※投稿に際してはこの執筆要領を遵守して下さい。執筆要領を守っていない原稿については、再投稿を求めることもあります。

1. 原稿の作成にあたって

- ・原稿の作成：Windows 上で作動するワープロソフト（MS-Word，一太郎のいずれか）で作成したものに限り。
- ・提出媒体：原稿は打ち出し原稿3部と電子データ記録媒体（CD-ROM，DVD-ROM，またはUSBメモリー）で提出する。なお，原則として，提出された記録媒体は返却しない。
- ・図表および写真：図表は，Windows 上で作動する Excel，または PowerPoint で作成したもの，もしくは GIF 形式または JPEG 形式で記録されたものとする。また，写真は JPEG 形式で記録され，明瞭に印刷できる解像度のものとする。なお，図表は文字数に含める。
- ・図：モノクロ印刷なので，データ系列の区分が明確にわかるように配慮する。

2. 提出原稿の体裁・書式

- ・用紙：本文は A4 用紙に 1600 字（40 字× 40 行）の横書きで作成し，上下左右に 30mm 程度の余白をとる。
- ・原稿冒頭に題目，次行に著者名および所属機関を（必要がなければ記載しなくてもよい）を記載する。
- ・和文・英文ともに要旨を記載してもかまわない。和文の要旨は 400 字程度，英文の要旨は 100 語程度とする。要旨を記載する場合は，著者名および所属機関の次，本文の前に記載する。
- ・フォント：本文は MS 明朝体 10.5 ポイント，題目は 14 ポイント，注釈番号と図表の注記は 8 ポイントとする。英数字は Century 体の半角とする。
- ・図表：図表は原稿中に埋め込み，見やすいようにレイアウトする。図・表の番号は，和文の場合は図 1，図 2・・・，表 1，表 2・・・のように，英文の場合は，Fig. 1，Fig. 2・・・，Tab. 1，Tab. 2・・・のように，それぞれ別個に連番とする。表のタイトルは上部に，図のタイトルは下部に記載し，図表の出所は図表の最下部に注記する。
- ・章節の構成（見出し）：章を示す番号は全角で 1，2，3・・・，節は，全角で 1)，2)，3)・・・，項は半角で (1)，(2)，(3)・・・とする。
- ・注釈：本文中に注釈を示す番号記号を「○○○¹⁾」のように上付き 8 ポイントの連番で記載し，脚注ではなく，注釈文は文末に一括して記載する。
- ・文字遣い：和文原稿は現代仮名遣いを原則とするが，必要に応じて歴史的仮名遣いの使用も可とする。
- ・句読点：和文の句読点は，「，」，「。」を使用し，英文は「，」，「.」を使用する。
- ・数字：原則として数字は算用数字を用いる。
- ・数式：本文中の数式は 1 行に独立して記述する。
- ・単位記号など：単位は単位記号を用い，単位記号は原則として J I S 記号を用いる（%，

t, kg, mなど)。

・数値の表記：半角での記載を原則とするが、和文の場合、桁数が大きい場合は、「12 億 3,456 万 t」などのように、千、万、億、兆などの使用も可とする。

・生物名：和文原稿においては、生物名は原則として標準和名をカタカナで記載する。

・年号：原則として西暦を用い、混乱を来さない範囲で下 2 桁のみで表記することも可とする。また、資料の引用などの際に必要ながあれば元号での表記も可とする。

・引用：引用したことが明確にわかるように、引用部分は、和文の場合は「」, 英文の場合は“” で括り、引用であることを明示する。

・付記：必要があれば注釈の後に記載する。

・参考文献・引用文献：参考文献・引用文献は、本文中には「著者（発表年）」の形式で記載し、文末に文献リストを著者の名前順に一括掲載する。同じ著者で同一年の複数の文献がある場合は、発表年の後ろにアルファベット小文字で区別する。

(例) 松井繁 (2011a), 松井繁(2011b)

・文献リスト：引用文献・参考文献のリストは文末に著者の名前順に一括して記載する。雑誌所収の論文等は、「著者（発表年）「題目」, 『雑誌名』, 巻号」, 単行本所収の論文等は「著者（発表年）「題目」, 『書名』, 発行者」, 書籍の場合は「著者（発表年）『書名』, 発行者, 総ページ数」の書式で、著者の名前順に一括記載する。英文の場合も、「」および『』を省き、和文に準じた形式で記載する。

(例) :

小林莉子 (2014) 「カントに関する一考察」, 『バンク研究』, 45-3.

村上義弘 (1965) 「追憶のびわこ」, 『近畿の将来』, 向日町出版.

石井貴子 (2000) 『女性労働の現段階』, 松戸書房, 234 ページ.

Matsui,S(2010) The King of Boat World, Boat Journal, 31-1.

Imagaki,K(2014) An Essay on Ashiya, Shimonoseki and Karatsu, Fukuoka Publishing.

Kamakura,R and Nagai,M : Venus on the Course, Naruto Press, 561p.

また、WWW に掲載されている情報等については、「ページの掲載者（年）, 「題目」, アドレス, 閲覧年月日を記す。英文の場合も和文に準ずる。

(例)

北日本漁業経済学会 (2014) 「北日本漁業経済学会会則」

<http://rose.hucc.hokudai.ac.jp/~h14306/kaisoku.html> (2014 年 12 月 10 日閲覧).

3. その他

・著者校正：著者校正は原則として初校のみについて行う。